

科目名	生物演習Ⅱ		学年	類型・コース	単位数
			3年	自由選択4・普通	2単位
学習の目標	生物学的に探究する能力と態度を養う。基本的事項をもとに、より発展的な内容を理解することができる。生物演習Ⅰで学習した内容を応用的・発展的に理解を深める。				
教科書 副教材	主たる教材：自主教材 副教材：なし				
評価	評価法	①定期考査(各学期1～2回) ②小テスト ③ノート ④授業反応 ⑤実験態度 ⑥実験操作 ⑦実験レポート			
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則の理解を図る。	
		b	思考・判断・表現	生物や生物現象を科学的に探究するために、見通しをもって実験や観察を行い、一連の学習を自分のものにする。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	生物や生物現象に対して主体的に関わり、気付きから課題を解決しようとする態度を養い、生命や自然環境の保全を尊重する。	
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5の5段階）にまとめます。					

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1 学期	4月	6	身の回りの生物の観察	身の回りの生物に関心を持ち、基本的な構造やはたらきを理解できる	定期考査 小テスト 実験操作	定期考査 実験レポート	ノート 授業反応 授業態度
	5月	8	体細胞分裂と細胞周期について	各細胞数から細胞分裂にかかる各時期の時間を推定することができる			
	6月	8	顕微鏡を用いたさまざまな細胞の観察	身の回りの細胞を顕微鏡を用いて正しく観察し、マイクロメーターを用いて細胞の大きさを測定できる。			
	7月	4	細胞の構造とはたらき	さまざまな細胞についての理解を深め、1学期のまとめをおこなう			
夏休み							
2 学期	9月	8	DNAの構造と遺伝について	遺伝のしくみをDNAの構造と関連付けて理解できる	定期考査 小テスト 実験操作	定期考査 実験レポート	ノート 授業反応 授業態度
	10月	8	バイオテクノロジーについて	さまざまな遺伝子操作の方法やその特徴を理解する			
	11月	8	生物の生殖方法について	さまざまな生物の基本的な生殖方法について理解する			
	12月	4	減数分裂と遺伝子組換えについて	減数分裂を行う際の遺伝子組換えのしくみを理解する			
冬休み							
3 学期	1月	6	染色体とゲノム	ヒトゲノムと染色体について理解する	定期考査 小テスト 実験操作	定期考査 実験レポート	ノート 授業反応 授業態度
	2月						
	3月						

担当者からのメッセージ（学習方法など）
毎時間の授業を大切に、テスト前は演習問題を繰り返し行うとよい。